

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	1単位・30時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	地域・在宅看護技術 訪問看護援助技術			授業形態	講義
担当教員	中嶋 敬代		実務経験	○(看護師)	
授業概要	在宅療養を支える技術として、コミュニケーションやフィジカルアセスメントなどの最も基本的な技術、食・呼吸・排泄などの日常生活援助技術、輸液管理・在宅酸素療法などの医療ケアの技術を学ぶ。訪問看護の技術として、実習の心構えから、家庭訪問における注意などを、看護における倫理原則を踏まえて理解する。 新型コロナウイルス感染症蔓延の経験を踏まえ、訪問看護における具体的な感染予防対策について理解する。				
学習目的	在宅看護に必要な日常生活援助・医療的ケア・生活の質向上のための援助技術を理解する。				
到達目標	1.療養者や家族との信頼関係を構築するためのコミュニケーション技術を理解する。 2.在宅で暮らす人々の健康生活を支えるために必要な対象のヘルスアセスメント、生活援助技術、医療処置について理解する。				
授業内容	1,2 地域・在宅看護実践とは 地域・在宅看護実践に欠かせない要素 3,4 対象者と看護師のパートナーシップ 対象者と看護師の対話・コミュニケーション 5,6 家族のアセスメントのポイント 家族の支援 7,8 療養者の暮らしを取り巻くリスクと安全対策 9,10 地域・在宅看護実践におけるリスクマネジメント 11,12 地域・在宅看護における看護師への暴力・ハラスメント 13,14 療養環境調整に関する地域・在宅看護技術 15,16 活動・休息に関する地域・在宅看護技術 17,18 食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術 19,20 排泄に関する地域・在宅看護技術 21,22 清潔・衣生活に関する地域・在宅看護技術 23,24 苦痛の緩和・安楽確保に関する地域・在宅看護技術 25,26 呼吸・循環に関する地域・在宅看護技術 27,28 与薬に関する地域・在宅看護技術 29,30 与薬に関する地域・在宅看護技術  終講試験				
評価方法	筆記試験				
教科書	ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 第3版第1刷 メディカ出版2025				
参考図書 等					
備考					